

くずまき山村留学制度を新設

全国から高校生を募集します

人生で最も重要な
高校生活3年間を
爽やかな高原の中で過ごし
将来のためにじっくりと
希望づくりをしませんか

生きる知恵や力を育む くずまき山村留学

少子高齢化による人口減少や、若い人材の町外流出が進む中で、葛巻高校に入学する生徒が減少している現状は、町にとって大きな課題であり、喫緊の対策が必要となつていきます。

「学」制度を創設。全国から高校生を受け入れる事業に取り組みます。

こうした中、町畜産開発公社では、これまで大自然に囲まれた「くずまき高原牧場」のフィールドと牧場が持つ多面的な機能を活用し「森のようちえん」や「スノーワンダーランド」など、命の尊さを学び、生きる知恵や力を育む独自の体験教育事業を展開し、県内外から多くの子どもたちが参加しています。

この山村留学事業を推進することで、葛巻高校の生徒確保の問題はもとより、若者の人材確保と町の人口減少問題の課題解決につなげ、さらに全国との交流を一層促進し、地域振興に結びつくよう取り組みを進めていきます。

葛巻でしかできない「葛巻型」の体験活動

同公社が持つ体験教育のノウハウとくずまき高原牧場のフィールドを基盤として、町では新たに「くずまき山村留

くずまき山村留學生は葛巻高校に通いながら、高校の教育課程とは別に「葛巻だから

できる」「葛巻でしかできない」「葛巻ならではの」の体験活動を行います。

① 自然体験

▼日常生活の中で自然の恵みに触れながら「豊かさ」や「命の大切さ」を感じ、「生き抜く知恵や力」を育む体験

▼くずまき高原牧場で実施している教育体験活動事業に参加し「人と人とのつながり」や「絆」の大切さなどを学習する体験

② 酪農体験

▼くずまき高原牧場における動物の飼育や酪農実技などの体験

③ イベント事業体験

▼くずまき高原牧場や町のイベントなどにスタッフとして参加し、企画や運営などのノウハウを学ぶ体験

④ 実践講習

▼第3セクターや酪農家など、町の第一線で活躍する「プロの仕事師」による講習

山村留學生への生活支援

くずまき山村留學生は、町が身元保証人となり受け入れを行い、3年間、町が用意した施設で寮生活を送ります。

① 居住（学生寮）

▼当面、くずまき交流館プラトリー客室の一部を学生寮として提供します。

② 食事

▼くずまき交流館プラトリーで年間を通して、朝、昼、夕の3食を提供します。

③ 葛巻高校までの送迎

▼くずまき交流館プラトリーから葛巻高校までは、町がスクールバスを運行します。

④ 費用（寮費）

▼月額2万円

くずまき山村留学制度の創設に併せて、留學生だけでなく葛巻高校の生徒誰もが受けられる支援制度を一層充実させ、葛巻高校の魅力をさらに向上させたいと考えています。検討中のもも含めて主な内容を紹介します。

葛巻生誰もが受けられる支援制度を拡大します

くずまき山村留学制度の創設に併せて、留學生だけでなく葛巻高校の生徒誰もが受けられる支援制度を一層充実させ、葛巻高校の魅力をさらに向上させたいと考えています。検討中のもも含めて主な内容を紹介します。

① 奨学金制度の拡充

▼貸与資格、貸与対象となる進学先の拡充
▼段階的な償還免除規定の新設

② 魅力ある学校づくり補助金の拡充

▼学力向上に係る補助金の拡充
▼就学関連費に係る補助金の拡充

③ 海外派遣の拡充

▼ワインとミルクの旅「葛巻高校ドイツ研修」の派遣

生徒数の拡大

岩手県外の生徒でも葛巻高校の学区内の生徒として出願が可能に

岩手県立高等学校への出願は、生徒と保護者が県内に住所を有することを条件とし、県外の生徒が岩手県立高等学校に出願するためには、保護者の転勤などによる県内への一家転住が原則とされてきました。

このような中、県教育委員会は過日、「くずまき山村留学」の取り組みについて、町

が地域振興への取り組みとして打ち出した制度であり、県として支援する必要があること、食事や住宅確保、送迎など生徒の支援に十分配慮していることなどを評価し、特別な事由として、一家転住がなくても県外から葛巻高校の一般入試への出願を認め、支援する方針を決定しました。

この決定により、県外の「くずまき山村留学」を希望する生徒は、岩手県教育委員会から特別入学志願（県外から岩手県立高等学校に出願するための事前申請）の承認を得ること、葛巻高校の学区内の

生徒として出願できるようになりました。

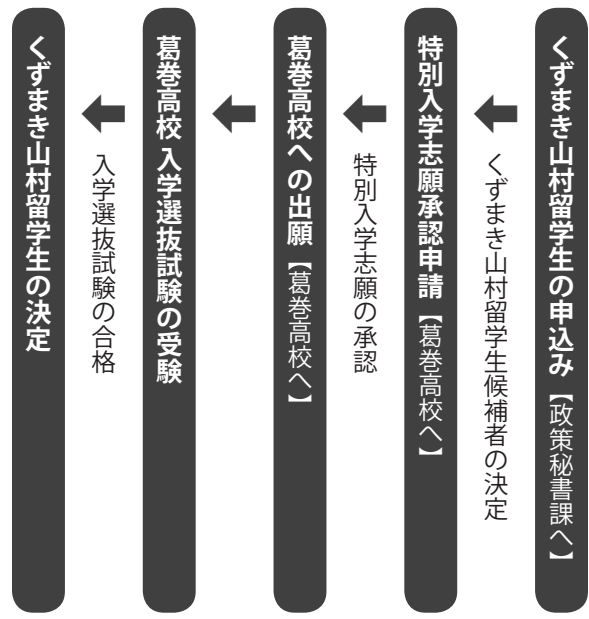
くずまき山村留學生 全国から募集します

町では現在、来年4月に葛巻高校に入学する山村留学希望者を全国から募集しています。皆さまの情報などをお待ちしています。

また、制度などに関する詳しい内容は随時、町のホームページなどでお知らせします。

政策秘書課 ☎0195・66・2111 内線213

くずまき山村留学の手続きの流れ



新婚生活を応援します!!

新婚2世帯にサポート金を交付

10月14日、新婚ライフサポート金の交付式が役場で行われ、新婚2世帯4人が出席。鈴木重男町長からそれぞれの世帯にサポート金10万円（くずまき商品券）が贈られました。

鈴木町長は「町は、若い人たちが快適に生活を送り、子育てしやすい環境づくりに全力で取り組んでいます。このような取り組みを友人や知人などに紹介していただきたい」とあいさつしました。

今年6月に結婚した会社員の大平学さん（36歳・四日市）は「とてもありがたい。冷蔵庫などの生活用品に使いたいと思います」と感謝しました。



鈴木町長からサポート金を受け取る新婚家族

葛巻小3年生が手作り

リーフレットで町の仕事を紹介

葛巻小の3年生29人が社会科授業の一環で「町でやっている仕事」リーフレットを作成しました。このリーフレットは、同校のPTA会員の酪農家や商店主、ワイン工場職員を学校に招き、聞き取りしながら児童一人一人が手作りしたもの。それぞれの仕事の内容や工夫している点、仕事に対する思いなどを分かりやすくまとめました。

10月15日、佐々木勝広校長、担任の矢内雅彦先生、大久保匠悟くん、樋ノ口美里さんの4人が町長室を訪れ、鈴木重男町長に29人分のリーフレットを披露しました。鈴木町長は「活字にすることは大変な作業。3年生でこんなに細かくまとめられるのはすごいこと」と頑張りを讃えました。



リーフレットを披露する匠悟くん①と美里さん。リーフレットを広げると縦60センチ、横40センチほどの大きさになります。